

2025 年度

大阪大学 分野連携大学院プログラム

ヒューマンウェアイノベーション学位プログラム

学生募集要項

2025 年 1 月 (訂正版)

大阪大学学際大学院機構

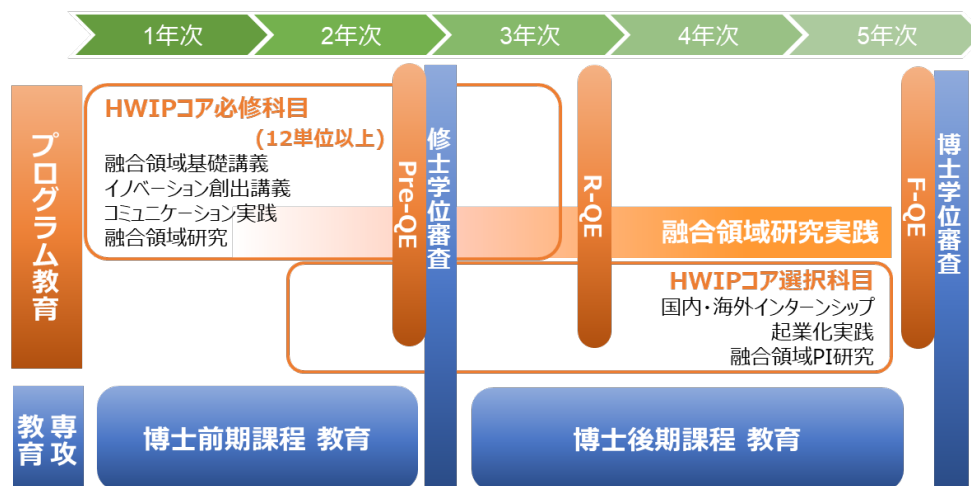
ヒューマンウェアイノベーション学位プログラム

アドミッション・ポリシー

本学位プログラムにおける「ヒューマンウェア」は、生命システムなどが持つ仕組み（柔軟性、頑強性、持続発展性）を有し、人間・環境に調和した情報社会を構築するための「情報ダイナミクス」を扱う技術です。ヒューマンウェアに関わる技術を習得するには、情報を受け取り、理解し、生み出す人間の高次脳機能のダイナミクスである「認知ダイナミクス」を理解し、また、人や環境に柔軟に適応する機能を与える「生体ダイナミクス」を理解する必要があります。本学位プログラムでは、大阪大学の情報科学研究科、基礎工学研究科、生命機能研究科が連携し、これら三つのダイナミクスを包括的に理解し、情報・生命・認知・脳科学の融合分野において、自ら課題を設定し、グループを組織・牽引してそれを解決することにより、新たなイノベーションを起こすことのできる双方向性を備えたネットワーキング型の博士人材を育成します。

プログラムの特色

本学位プログラムは、情報・生命・認知・脳科学といった融合分野を俯瞰できる幅広い学識を有し、融合分野研究を牽引できる実践力と国際性を身につけ、イノベーションを創出できる高度人材を育成するための5年一貫の教育プログラムです。本学位プログラムを修了するためには、所属する研究科(主専攻)が必要とする要件単位に加え、プログラム固有の単位を取得する必要があります。



選抜対象

情報科学研究科（情報数理学専攻、コンピュータサイエンス専攻、情報システム工学専攻、情報ネットワーク学専攻、マルチメディア工学専攻、バイオ情報工学専攻）、基礎工学研究科（物質創成専攻、

機能創成専攻、システム創成専攻)のいずれかの博士前期課程(新1年次)、あるいは生命機能研究科(生命機能専攻)博士5年一貫制課程(新1年次)の入学予定者の中から、本学位プログラムの受講を希望する学生に対して、本学位プログラムの選抜試験を実施します。

審査体制・学位要件

2年次の終了時に、書面での要件達成度を確認するPre-QE(Pre Qualifying Examination / 進級審査)、3年次終了前に、融合領域研究等の活動状況を評価するR-QE (Research Qualifying Examination / 進級審査)を行います。これらの審査は本学の教員によって行われ、それぞれ合格した者のみが、次年度への進級が認められます。

また、研究科での学位審査と同時期にF-QE(Final Qualifying Examination / 最終審査)を行い、本学位プログラムが目指す以下の資質について評価し、合格と認められた者に、所属専攻名に加え、『分野連携大学院プログラム「ヒューマンウェアイノベーション学位プログラム」』を明記のうえ、専攻固有の学位が授与されます。

- 情報・生命・認知・脳科学といった融合分野の高度な知識を身につけ、横断的にとらえ活用することのできる能力を有すること。
- 融合分野の広範な知識を基盤とし、社会課題を解決に導くイノベーションを創出できる高度な教養と着想力を有すること。
- 高い倫理観と国際性を有し、学術領域や産業界における融合分野の発展に貢献できる力を身につけていること。
- 情報・生命・認知・脳科学の深い学識を駆使して、融合分野研究を立案できるデザイン力を身につけていること。
- 融合分野研究を推進し、リーダーとして牽引できる能力を有すること。

経済支援

- 1) 本学位プログラムでは、学生の受給申請に基づき、選考を経た上で給付奨学金を支給する制度を用意しています。なお、給付額は年度ごとに決定します。(2024年度の実績給付額は、情報科学研究科・基礎工学研究科の博士前期課程、生命機能研究科博士課程1-2年次については月額3.5万円、情報科学研究科・基礎工学研究科の博士後期課程、生命機能研究科博士課程3年次以上については月額7.5万円でした。)

※ 給付奨学金は、「学資に充てるため給付される金品」として「非課税所得」となるので、課税対象にはなりません。

- 2) プログラムを履修する者のうち、情報科学研究科・基礎工学研究科の博士後期課程、生命機能研究科博士課程3年次以上に在籍(標準修業年限内の者に限る)する学業成績が優れてい

る者で、プログラム責任者から授業料免除適格者として推薦を受けた者を授業料免除の対象者とします。

- 3) 本学位プログラムを履修しつつ、大阪大学の博士後期課程学生に対して募集が行われる支援事業『次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)』に応募することができます。これらに採用された場合、奨学金等一部重複して受けられない支援がありますが、本学位プログラムも継続することで、履修活動にかかる各種支援は継続します。

さらに、本学位プログラムを履修する者が、『次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)』に応募する場合、本学位プログラムの履修状況や学業成績を鑑み、プログラム責任者から適格者として認められれば、推薦を受けることができます。

- ※ これらの制度は、毎年度の本学の財政およびその他の状況を勘案して実施するため、今後内容等の変更があり得ることにご留意ください。
- ※ 上記支援以外にも、プログラムを履修するうえでさまざまな形の支援を用意しています。

求める学生像

本学位プログラムで求めているのは、例えば次のような資質を有する学生です。

- 情報科学、生命科学、認知・脳科学およびその複合領域についての高い関心
- 異分野の論点を理解するための強い好奇心と理解力
- 対象を多面的に捉えるための柔軟性と無邪気さ
- 専門分野を超えた交流に必要なコミュニケーション力
- 世界的に活躍できる国際的視野
- 難しい問題に正対する勇気と、これを乗り越えるための忍耐力

学生の選抜方針

本学位プログラムに参加することを希望する学生は、まず各々の研究科に合格する必要があります。さらに本学位プログラムの選抜を二段階で行います。

書類選考では、応募書類に記載していただく応募動機及び学部での成績により、これまでの学力、本学位プログラムに参加する意欲を審査します。

面接試験では、面接により、上述の「求められる学生像」を基準に審査します。

2025 年度 大阪大学 分野連携大学院プログラム ヒューマンウェアイノベーション学位プログラム 学生募集要項

ヒューマンウェアイノベーション学位プログラムでは、別途ページに記載のアドミッション・ポリシーに基づき履修者選抜を実施します。

1. 募集人数

10 名程度

2. 出願資格

大阪大学大学院情報科学研究科（情報数理学専攻、コンピュータサイエンス専攻、情報システム工学専攻、情報ネットワーク学専攻、マルチメディア工学専攻、バイオ情報工学専攻）、基礎工学研究科（物質創成専攻、機能創成専攻、システム創成専攻）のいずれかの博士前期課程 1 年次、あるいは生命機能研究科（生命機能専攻）博士 5 年一貫制課程 1 年次に 2025 年度 4 月に入学予定の者。

※ 他の博士課程教育リーディングプログラム、卓越大学院プログラム、特定分野大学院プログラム、理工情報系オーナー大学院プログラムを重複して履修することはできません（選抜試験への重複出願は可。人文社会科学系オーナー大学院プログラムの重複履修は可能です）。

※ 研究科入学後の受け入れ教員(配属研究室や指導教員)が決まっている場合は、受け入れ教員に出願することについて事前に連絡(確認、相談)をしておくことを推奨します。

3. 選抜プロセス

願書受付	:	2025 年 2 月 12 日(水) 9 時～19 日(水) 15 時
書類選考合格発表	:	2025 年 2 月 27 日(木)
面接試験	:	2025 年 3 月 4 日(火)
最終合格発表	:	2025 年 3 月 11 日(火)

4. 出願手続

「2.出願資格」に該当する者は、下記の要領で出願手続を行ってください。検定料は必要ありません。

出願方法： インターネットによる受付（応募フォームによりエントリーしてください。）

URL： <https://www.humanware.osaka-u.ac.jp/recruitment/entrance/>

出願期間： 2025 年 2 月 12 日(水) 9 時 ～ 19 日(水) 15 時

出願書類： 「5.出願に関する書類」記載の 1 ～ 7

5. 出願に関する書類

1	履修願書（様式 1）◎	所定の用紙に記入してください。本人確認のための顔写真(3 か月以内に撮影したもの)を挿入してください。
2	履歴書（様式 2）◎ (英語能力検定試験の証明★)	【書類選考の対象】所定の用紙に記入してください。英語力検定試験（TOEIC、TOEFL、IELTS、その他）の成績について記載する場合は、スコア等を証明する書類の写しを添えて提出してください。
3	出願理由書（様式 3）◎	【書類選考の対象】アドミッション・ポリシーを熟読した上で、所定の用紙に記入してください。
4	評価書（様式 4）◆	【書類選考の対象】出願者のことをよく知る大学教員（出願者の卒業研究指導教員、大学院での受入れ予定教員等）が所定の用紙に記入し、教員より直接、指定の方法で提出してください。自己評価は不可。
5	本学大学院合格通知書★又は大阪大学 大学院合格証明書★（様式 5）	本学大学院合格通知書がない場合は、所定の用紙に、合格した研究科長名で証明したものでも可(※1)。
6	卒業（見込）証明書★	出身大学長等が作成したもの。
7	成績証明書★	出身大学長等が作成したもの(※1)。

【出願書類準備・提出方法】

◎： 出願者本人にて作成のうえ、word 形式(doc,docx)もしくは pdf 形式で提出

★： 書類のスキャンデータ(pdf 形式)を提出

◆： 指導教員にて作成のうえ、word 形式(doc,docx)もしくは pdf 形式で提出

いずれも、ファイル名の付け方に指定があります。上記「4.出願手続」の出願方法サイト(リンク先)で説明していますのでよく確認してください。

※1： 学部 3 年次学生を対象とする特別選抜の一次試験に合格した状態で応募する方は、7)成績証明書の提出は不要です。応募の際、出願登録フォームの備考に「学部 3 年からの特別選抜を受験中である」ことを記載のうえ、5)本学大学院合格通知書の代わりに、「一次試験の合格通知書(スキャンデータ)」を提出してください。

6. 選抜についての注意

1. 受験番号は願書受付期間終了後、出願時登録されたメールアドレスに送付します(プログラム事務局 < selection[at]humanware.osaka-u.ac.jp > より発信されます)。
2. 書類選考は、履歴書、出願理由書、評価書、学部の成績等により実施します。書類選考の合格発表はヒューマンウェアイノベーションプログラムホームページに受験番号を掲載することにより行います。
3. 面接試験はオンライン(zoom)にて実施します。
4. 面接試験は、書類選考合格者のみ受験できます。書類選考通過者への詳細な情報は、ヒューマンウェアイノベーションプログラムホームページ、またはメールにて発表します。

7. 合格発表

書類選考ならびに、面接試験の結果については、ヒューマンウェアイノベーションプログラムホームページにおいて、合格者の受験番号を掲載することにより発表します。また最終合格者へはメールにて通知します。電話による可否の問い合わせには応じません。

8. 履修手続

ヒューマンウェアイノベーション学位プログラム履修者選抜に合格した場合は、履修手続が必要となります。ヒューマンウェアイノベーション学位プログラムを履修することによる追加の入学料・授業料は必要ありません。詳細は合格者に連絡します。

なお、新年度 4 月 4 日(金)もしくは 11 日(金)にプログラムのガイダンスを予定しています。履修意思を表明した方は参加が必須となりますのでご予約ください。

10. 注意事項

- 1) 出願書類に不備のある場合は受理できません。

- 2) 出願手続後は、原則として記載事項の変更は認めません。
- 3) 出願時に提出された書類・データは返却しません。
- 4) 出願書類に虚偽の記載・改ざんをした者は、履修決定後であっても履修の許可を取り消すことがあります。
- 5) 身体に障害等がある者で、受験に際して特別な配慮を希望する場合は、原則として願書受付期間内にヒューマンウェアイノベーションプログラム事務室へ問い合わせてください。

11. 個人情報の取り扱いについて

- 1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報については、「履修者選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格発表」、「履修手続」等の業務及びヒューマンウェアイノベーション学位プログラムに関する業務を行うために利用します。
- 2) 履修者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、選抜結果の集計・分析及び履修者選抜方法の調査・研究のために利用します。
- 3) 上記 1 及び 2 の業務を行うに当たり、一部の業務を外部の事業者へ委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだうえで、当該事業者に対して、提出された個人情報の全部又は一部を提供します。